

# 令和7年度 市民と市長の対話集会

## 市長と語ろう！あったかミーティング

### 開催結果報告書

- 1 開催日時 令和8年（2026年）3月18日（水）  
午後3時30分から5時まで
- 2 開催場所 平塚市美術館 ミュージアムホール
- 3 参加者 市内に本社を置く企業の社員及び経営層の方  
5社12人
- 4 テーマ 市内に本社を置く企業から見た平塚市の魅力あ  
るまちづくりについて



※この報告書は事務局で要約しました。

## 5 主なミーティング内容

### 【司会】

本日は、年度末のお忙しいところ「市長と語ろう！あったかミーティング」にご参加いただきまして誠にありがとうございます。

この集会は、市長が市民の皆様のご意見・ご提案を直接お伺いして市政に生かすとともに、市民の皆様にも平塚市の市政の関心を高めていただくことを目的として実施しています。

本日は、市内の企業5社から社員、経営層の皆様12名にお集まりいただきました。開催にあたり、落合市長からご挨拶をさせていただきます。

### 【市長】

平塚市長の落合です。本日は、「市長と語ろう！あったかミーティング」にお忙しいところご参加いただき、お礼を申し上げます。

今、司会からもご説明申し上げましたが、私が平成23年に市長に就任してから、市民の皆様と対話を重ねてまいりました。

皆様からいろいろなヒントをいただくとともに、その時々課題について話し合いをさせていただきました。

この「あったかミーティング」は、私の市政を進める上では、大変重要なものだと考えています。これまで、子ども・子育て、介護、産業とさまざまな分野の方々と話をしてまいりました。緊張せず、本音の部分聞かせていただければと思います。よろしく願いいたします。

以前は「ほっとミーティング」という名称で、今年度からは、本市のスローガン「あったかひらつか」に合わせて、「あったかミーティング」に名称を改めました。

この「あったか」という言葉には、気候が温暖である「あったか」と、「それもあったのか」という気付きの「あったか」の2つの意味が込められています。私が一番重要だと思っているのは、人と人とのつながりが「あったかいこと」ではないかと思います。

「平塚であったかく末永く暮らしていただく。生活していただく。仕事をしていただく。」このようなまちづくりを目指しています。

本日のテーマは「市内に本社を置く企業から見た平塚市の魅力あるまちづくりについて」です。平塚は産業・経済のまちだと考えていますので、特に平塚で働かれている、生活している皆様の忌憚のないご意見をいただければありがたいと思います。

今日は、皆様にも、私にも有意義な時間となりますようお願いをいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

### 【司会】

本日の参加者の皆様には市内在住の方が多く、生まれ育ったまちで長く生活している方が多いようです。事前のアンケートでは、住みやすさにつきましても「満足されている」といったお答えを多く見受けました。

また、都心や横浜へ1時間程度で行けるほど良い距離で、暮らしやすさを感じている方が多いように見受けられました。

改めて、通勤や日常生活の中で「平塚は働きやすいまちだ」と感じる点や、逆に「不便と感じている部分」について、ご意見をいただきたいと思います。

**【参加者】**

3歳と5歳の子どもがいます。不満もなく、住みやすいです。  
不便を感じるようなところは、それほど感じません。

**【司会】**

交通渋滞が気になるということをアンケートに記載されていましたが、通勤時のストレスはありますか。

**【参加者】**

朝、早めに出れば影響はないのですが、日によって道が混む日、混まない日があり、雨の日など天気によっても違います。住んでいるところが秦野との市境で、選ぶ道により違います。秦野方面から平塚へ来る車が多いということもあると思いますが、メインの大きな道路が渋滞してしまうのは時間がもったいないと思います。

**【司会】**

自転車の通行スペースが狭いというご意見についてはいかがでしょうか。

**【参加者】**

会社の近くの郵便局へ徒歩や車で行くことが多いです。歩道が狭く、自転車を追い越そうとしても追い越せない車がつながることが多いです。また、歩道の途中にポールが立っている箇所もあります。歩行者も周りの様子を気にしながら歩くような場所があります。

**【司会】**

バスを使った東西の移動について、駅を経由しなければいけないのが不便というご意見については、いかがでしょうか。

**【参加者】**

私自身は、そこまで気になりませんが、通勤する上では一度平塚駅を経由しなければならず、ストレスを感じると思います。

**【司会】**

バスに関して、平塚市は駅が一つしかないので、駅を基点としたバス路線になっており、バスの系統数は近隣市町でも多い方であると思います。

現在、平塚で自動運転バスの検証を行っています。これから動画を映写します。配布した資料をご覧くださいながら市長に話を伺います。

<以下の自動運転バスの説明の間、「本市の自動運転社会実装に向けた取組み2025の動画」を映写>

**【市長】**

神奈川県中央交通株式会社の本社は、平塚にあります。平塚市内は路線も多く、大勢の運転手が必要です。将来的には、平塚駅から南側の地域において、自動運転のバスを稼働させることを考えています。

平塚市では、実際のバス路線と停留所を利用し、検証を行っています。令和5年度から開始し、現在は「レベル2」です。「レベル2」というのは、運転席に運転手が座っていますが、ハンドルを握らずフットブレーキやアクセルにも触らない状態での運転です。

スピードは、時速20キロメートルくらいで走行します。今後、乗り心地が良く安全性が確保されたバスが走り始めるのではないかと期待しています。

実際のバス路線や停留所を使用した実証実験は「平塚モデル」と呼ばれており、全国でも注目をされている取り組みです。

**【司会】**

コミュニティバスに乗ってみたいというご意見がありました。

**【参加者】**

まだ乗車はしていません。子どもを出産するときに田村地区の少し南側から平塚市民病院（以下「市民病院」と表記）へ通院していました。この区間の交通機関がなく苦慮していましたので、その区間を走行するというのを伺い、機会があったら乗車してみたいと思いました。

**【司会】**

田村地区は、コミュニティバスも走車していますね。

**【市長】**

今までは、シャトルバスでした。平塚駅を經由せず市民病院や平塚共済病院へ行くことができるシャトルバスを運行していただきました。

**【参加者】**

多分、走行していたのですが、気付くのが遅かったです。

**【市長】**

シャトルバスも便利でしたが、令和5年に大神地区に開業した大型商業施設にクリニックが開業したことで、無医村地帯は解消できました。

交通政策において、地域公共交通網形成計画という、市内の東西をつなげるような利便性の高い交通路線を考えていかなければいけないということから、シャトルバスを再編し「ビトウィーンライナー」というコミュニティバスを運行することとしました。

先日乗車してきましたが、高齢者でも乗り降りしやすい低床で乗り心地も良いです。

コースは、田村車庫から南下しながら市民病院へ行き、その後は、旭地区の方の西部福祉会館等を回りながら、平塚共済病院を通り、市役所へ来て、次は保健センターへ行くというように東西の医療や福祉施設を巡回するような経路です。是非多

くの皆様にご利用いただきたいと思います。

現在は、路線バスと同じ運行距離に応じた料金となっています。市民病院から平塚駅を經由して市役所へ来るよりも、このコミュニティバスに乗車した方が運賃は安くなっています。利用料金も含め、市民の皆様の実便性を高めて運行しているという状況です。

#### 【司会】

今回は、経営層の方々にお話をお伺いしようと思います。「求人に対して全国から応募がある」というご意見もある一方で、「立地的なこともあり、採用活動が厳しい」というご意見も伺いました。

先ほども「交通渋滞している」というご意見やバス路線が充実しているといったご意見もありました。

公共交通機関や行政へのご意見を伺いたしたいと思います。

#### 【参加者】

弊社は、平塚駅と本厚木駅の間くらいにあります。JRからも小田急線からも遠く、バスの本数も多くないため実便性が良くありません。求人票を携え、神奈川県内を巡回しています。親御様のご希望の多くは「近くの会社へ就職させたい」ということです。例えば、横須賀の方は、横浜でも遠いとおっしゃる。川崎でも遠いのに平塚は更に遠いと言われます。平塚には秦野や小田原と比較すると大手企業が多いですが、「魅力を感じない」と言われることも多く、市長に代わりそのようなご意見を打ち消したいところですが、なかなか言葉が出ない状況です。

平塚の魅力について、海もあり山もあり、大きなショッピングモール等、アミューズメント的な施設もあるとアピールしますが、「その施設には、どのように行くのですか」と尋ねられると説明が難しい状況です。

#### 【参加者】

先ほど、司会の方から「弊社に地方から転職してくる社員が増加している」という話をされましたが、平塚で生活する場合、藤沢や茅ヶ崎と比べて住宅に係るコストが安価であることが非常に魅力的であると感じてもらっています。地方都市とあまり変わらないのではないかと感じています。

都内に出掛けるときにも、平塚駅から乗車すると電車で座ることができます。茅ヶ崎駅からでは座るのが難しいです。妻が都内まで通勤していますが「電車で座れるというのは素晴らしい」と言っています。

また、自然が豊かです。私の妻が千葉県出身で、大磯町の乗馬クラブに通ったり、狩猟やクレー射撃を楽しんだりしており、近隣でこのような趣味が楽しめるという環境があることを気に入ってもらっています。

社員は若い人が多く、土日には都内に出掛けるなど、様々な楽しみ方を行っています。

#### 【司会】

採用事情などはいかがですか。

**【参加者】**

求人募集しても、県央からの人材が集まりにくいという状況はあります。厚木、秦野辺りでは車での通勤以外は考えられず、小田急線沿線からの応募は、ほとんど無い状況です。本日出席している社員は、県央地区の出身で、平塚に転入してきている状況です。

今、高校生や大学生などの若い方々は「自宅から通いたい」「近いところで仕事をしたい」という方が多く、一人暮らしをしたいというような方は、求人においては少なくなっている状況です。

そのため、可能でしたらJRだけでなく、別の路線も入ってきていただきたいと思えます。

**【司会】**

横浜方面から通勤される方に対して、気を遣われていることはありますか。

**【参加者】**

採用で面接をしているときにもお住まいを伺います。横浜方面からだとは渋滞などもあり、車での通勤はかなり厳しいです。朝早く出勤する必要もあり、採用面では気を遣うところです。

**【参加者】**

弊社も同じ状況です。従業員はドライバーが多いので、車で通勤する方もいます。遠方からだとも時間もかかり仕事に支障が出ることもあるため、近隣にお住まいの方を選ぶことが多くなっています。

**【司会】**

交通問題や魅力発信についてご意見をいただき、ありがとうございました。

では、視点を変えて「もし、知人に平塚で働くことを勧めるとしたら、どんなことを魅力として伝えますか。」ということについて、ご意見をいただきたいと思えます。

**【参加者】**

自然環境の良さがあって、コロナの時には露店が減ってしまいましたが、毎年開催される七夕まつりがあります。この点は、アピールポイントになると思います。あとは、地域の賑わいと温かみを感じる機会が多いと思います。

**【参加者】**

静かで暮らしやすいところでしょうか。私は田村地区に住んでいます。周辺に商業施設などがあり、転居してきてよかったと思えます。

**【参加者】**

私は今、伊勢原市に居住しています。実家は湯河原町です。湯河原は、ほぼ山で、移動の選択肢は、自転車も厳しいため徒歩でした。平塚に就職し、駅から平坦なところに驚きました。自転車も多く走行していて、車以外にも選択肢が多いところが良いポイントだと思いました。

【参加者】

今、子育てをされていて、市の子育て支援が多い印象です。あとは、洗濯物がよく乾きます。

【参加者】

自然が豊かというのもあります。私の趣味は釣りです。平塚は、東名高速道路も近く、小田原厚木道路、西湘バイパスもあるので、例えば、静岡方面や箱根へ行くにも便利です。東京湾へも行きやすく、交通のハブとして機能しており、自分の趣味に合った場所にアクセスしやすいです。また、家賃が安いので、住むところとしては良いと思います。

【参加者】

私は現在、二宮町に居住しています。結婚する前、実家は平塚でした。平塚には大型商業施設があるため、平塚の方が良かったと思います。

【参加者】

市内には、商業施設が充実しています。また、私も休日には東京や横浜にはよく出掛けます。1時間ほどでアクセスできるのは良いと思っています。子どもの頃から平塚に住んでおり、七夕まつりが大好きで、ものすごくアピールできる場所だと思います。

【司会】

市長、本日いただいた本市の魅力アップに関する様々なご意見についていかがでしょうか。

【市長】

率直なご意見をいただき、ありがとうございます。

26万人都市で駅が1つしかないのは、調査したところ全国で平塚だけです。

別の路線について、様々な計画があったようです。JRや鉄道会社の事情もあります。今、人口や旅客数が増えるような状況ではなく、鉄道や大きなインフラを整備するような時代ではなくなってきたということもあります。平塚のような大きな都市で計画的に駅を作ることについても重要な課題となってきたのも事実です。

大神地区に大型商業施設が開業しました。「ツインシティ」と呼ばれ、平塚側と寒川側にまちを作り、橋を架け、そこに新駅を作り通勤新幹線として横浜、東京へ行こうという計画を進めてきているところです。

大神地区には、まちができました。これから神奈川県が橋を架け、寒川側に新幹線の駅を作ろうというのが「ツインシティ構想」です。

東海道新幹線の中で、一番距離の長い区間が米原駅と京都駅の区間、その次は、小田原駅と新横浜駅の区間です。寒川町に駅ができれば、横浜、東京には30分かかる時間移動が可能な通勤新幹線も含め、利便性を高めようと計画が進んでいる状況です。

今後、人口はあまり増加しないかもしれませんが「平塚は住みやすい」とか「平塚へ行くと楽しい」と言われるようなまちづくりをしていくことと、シティプロモ

ーションの一環としてシティセールスを進め、情報発信をしています。

先ほど「子育て支援が多い」というご意見をいただきました。この十数年、子育て支援に積極的に取り組んでまいりました。例えば、「ひらつかネウボラルームはぐくみ」は、お子さんが生まれたときから様々なご支援ができる仕組みです。

市民病院には「NICU」という安心・安全な出産ができる形を整備しています。また、医療費については、高校生まで無償化する制度を作りました。

子育て支援に関しては、平塚・茅ヶ崎・藤沢・逗子等の湘南エリアの中で非常に充実しているという評価をいただいています。子育てしやすいまち、住みやすいまち、皆様が働きやすいまちというものを目指していかなければならないと思います。

また、学生の方が奨学金を借りて、働きながら大変な思いをして返しているということも伺っています。青少年奨学金返還支援事業を令和6年度から開始しました。市民を正規雇用した際に補助する正規雇用促進補助金という制度も創設しました。

これらの制度を始め、平塚市は働きやすいという環境づくりをすることが、企業様に対する直接的な応援になるのではないかと思います。

さらに、皆様の生活しやすさに直結するようなまちづくりを進めていくことが、住みやすいまちづくりにつながっていくのではないかと思います。

子ども・子育て施策、働きやすさ、医療施策、高齢福祉施策などがあります。また、平塚には、4つの支援学校があり「障がいのある方々に優しいまち」と言われています。全体的に「あたたかいまちづくり」ということが、皆様の働きやすいまちにつながっていくものと考え、取り組んでいます。

平塚に実際に住んでみたら「平塚はいいね。」とおっしゃっていただける方が多いです。

平塚に住んでいただくまでの誘導をシティプロモーションや広報で、着実に押し進めていく必要があると思います。

昨今の物価高騰対策については、魅力ある持続可能なまちづくりを進めていくことを考え、国の重点支援地方交付金を活用しながら産業の発展や子育てを中心とした対策パッケージを作成し、対応しています。

平塚の産業は、皆様に支えていただいています。行政として市内の産業を確実に応援していきたいという強い思いがあります。

#### 【司会】

経営層の方にお伺いします。「これまで平塚で操業していてよかった」と感じることはありますか。

#### 【参加者】

私は、平塚で生まれ育ち、平塚は大好きなまちです。

平塚のいいところは、まち自身で全てが完結しています。私の会社がある東八幡工業団地は、平塚で初めて中小企業が集まってできた工業団地です。バスの便や駅からのアクセスも良く、自転車でのアクセスも良いです。

行政に作っていただいたインフラの恩恵を受けておりますので、少しでも地域に恩返ししたいと思っています。

#### 【参加者】

高速道路のアクセスがよく、お客様が全国にいらっしゃいますので、大変便利な

場所だと思っています。

**【参加者】**

工場を運営する上では、例えば多摩地区では、冬に積雪があり工場がストップするというようなことも伺っています。昨年津波注意報もありましたが、そのような災害等の影響は平塚では少ないかと思っています。

**【参加者】**

生まれも育ちも平塚で、会社を創業したのも平塚です。他の地域へ出たいと思ったことは全然ありません。いいところだと確信しています。

**【参加者】**

弊社のグループ会社は海外拠点もありますが、富山に本社工場があります。拠点別には東北にもありましたが、震災の時に閉鎖し、研究部門を含め現在は富山に集約している状況です。関東にあるグループ会社は弊社のみであり、独自色を持ち操業しています。電子部材や医薬品の中間体を製造しています。コロナの時には爆発的に売れたものもあります。

既存のラインナップの商品は、相模川を挟んだ場所や小田原にある会社とは、近いエリアで技術的な要望にお応えできるようになっており、拠点的には適切な場所ではないかと思えます。

また、都内のメーカーの方や商社の方へ1時間程度で行き来ができますし、東北や関西方面に出向くのも便利であると思えます。

**【司会】**

これまで皆様から「住みやすく、企業活動としても利点がある」というご意見をいただきました。一方でアンケートでは「アピールしにくい点」ということにもご意見をいただいています。治安について悪いイメージをお持ちの方がいらっしゃるようです。

**【参加者】**

私は、平塚に住んで7年ほどになります。その前から友達が平塚に住んでいて、よくない噂も聞いたりしていたので、良くないイメージが先行していた部分もありましたが、実際に住んでみて、怖いと思った経験はありません。

**【参加者】**

私は平塚が地元ですから、治安が悪いと感じたことはありませんが、茅ヶ崎や藤沢に住む友人からは「あまり良くないのでは？」という話は聞きます。

**【司会】**

いただいたご意見に対して、市長から説明はありますか。

**【市長】**

私は、東日本大震災の直後に市長に就任しました。当時は、体感治安の悪いまちと言われていました。

警察や防犯協会、交通安全協会等の団体と協力をして安心・安全なまちをつくっていこうと今まで努力をしてまいりました。

参考に、私が就任した平成23年の平塚の刑法犯の認知件数は、約3,500件ありました。昨年、令和7年の刑法犯の認知件数は、1,700件と当時の半分になりました。

先ほど「平塚は平坦で自転車でのアクセスが便利だ」というご意見をいただきましたが、1,700件のうち、多くを占めるのは自転車の盗難犯です。

市全体の安全対策を進めてきた中で、刑法犯が半分以下になったということも積極的に発信していきたいと考えています。また、市が行ったアンケートで「平塚は安全なまち」と答えている若い方も多い状況です。

このような実情を広めていきたいです。知人の方にも「平塚は危なくないよ。」とお伝えください。

七夕まつりについては、私は昭和56年に市の職員になり、最初に担当したのが七夕まつりでした。七夕まつりはまちの大きなイベントであり、伝統を絶やしてはいけないと思います。

令和8年の七夕まつりは、74回目の開催となります。7月3日から5日まで開催しますので、是非、お越しいただきたいと思います。

#### 【司会】

イメージにつきましては「アピールポイントがない」「湘南でありながら湘南のイメージがない」というご意見をいただきました。茅ヶ崎や江の島・鎌倉と比較するとブランド力がないということでしょうか。行政としては、魅力アップを今後も図っていく必要があると思います。一つには、平塚駅周辺の魅力アップとして駅周辺地区の構想を現在進めています。

市長、構想についてご説明していただけますか。

#### 【市長】

平塚の玄関口としての魅力アップを図っていきます。平塚というまちの評価に関わってくると思います。

これまでは、大型商業施設に出店をしていただきました。一方、駅周辺に関しては「元気がない」といったご意見もある状況です。

持続可能なまちづくりを実現するために、一昨年、平塚駅周辺地区の将来構想を策定しました。

昨年から実際にまちを作っていく中で、どのような形のまちにしていくのかという「アクションプラン」を進めています。

終戦の1か月前の昭和20年7月16日に大空襲があり、市街地の大半が焼けてしまいました。

そこから先人たちが大変苦勞されました。市街地は、区画整理が行われ、碁盤の目のように道路が揃い、商売も発達しました。

その後、復興して商都と呼ばれるようになり、長崎屋、十字屋、梅屋などのデパート発祥の地となりました。この頃は、三島から三浦までの範囲の人が買い物に来てくれるという状況でした。特に衣料品が有名で「平塚に来れば、なんでも揃う」と言われたまちでした。

駅周辺を平塚の玄関口として、もう一度着実にまちを作っていこうと構想を策定

し、進めているところです。

様々な課題を行政として解決策を考えていかなければならないと思っています。活性化のために地権者や市民と一体となって汗を流しながら、まち中の魅力アップに向けて本格的に稼働してまいります。今後も多くの皆様からのご意見を賜りながら進めていきたいと考えています。

「平塚駅周辺地区をみんなのリビングに！」をコンセプトとしています。まち全体で「居心地の良い」「買い物がしやすい」環境を作っていくことが目標です。

#### 【司会】

最後に各社お一人ずつ、本日の感想や「平塚市はこうあるべき」というご意見でも結構ですので、一言ずつ頂戴したいと思います。

#### 【参加者】

本日は、参加させていただきまして、皆様のご意見、そして市長のご説明の中で、実は様々な策を練っていらっしゃるという話を伺いまして、大変心強く思います。

転入の多いまちとお伺いしましたので、更に人口を増やしていただき、賑やかな市にいただければ、私たち企業も採用面でも働きやすいまちになるのではないかと大変うれしく思います。今後とも、よろしく願いいたします。

#### 【参加者】

本日は、どうもありがとうございました。

参加させていただいて、様々な企業の方の話も伺うことができ、よかったと思っています。

最初の方で、東西の移動がしづらいというご意見がありました。実際に自動車でも移動しづらいので、朝、農道での渋滞や、右折車待ちで渋滞するといったことも東西の道路には多いと思います。対応をご検討いただき、解消できると私どものタクシーも移動がしやすいと思います。

#### 【参加者】

今日は、短い時間でしたが、ありがとうございます。

業界が違う方のご意見を伺うこともできました。とても有意義な時間だったと思います。

私は、賀詞交歓会の時に市長の話を伺う機会があったのですが、今日は具体的な話を伺うことができましたので、とても良い時間だったと思います。

今後とも、本当に微力ですけれども、県内の高校生など採用の際に平塚をアピールしていきたいと思っています。

#### 【参加者】

本日は、貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございました。

市の方で、様々な制度を作っていただいている、我々経営層や人事担当者は、社員に周知することに力を入れていくことが「あったかひらつか」につながるということを改めて感じました。

また、企業と行政の連携を進める余地があると思います。民間の活力を拡大していくために、例えば「コ・クリエーション」（共創）という言葉が良く使われている

ますが、そのようなプロジェクトや担当課を設置していただいて、フットワークが軽く、周りを巻き込んでいけるような職員の方に担っていただくということも必要なのではないかと思います。

個人的には、20代から30代の異業種交流会で2年くらい市の若手の職員の方何名かと交流させていただいています。

就職で地方から平塚へ移住してきたという方も参加されており、良い場になっていましたので、そういうことも引き続きできたら良いと思います。

本日は、ありがとうございました。

#### 【参加者】

本日は、ありがとうございました。市長から、平塚市が進めている計画などの話を伺い、平塚で働いている私にとっては、すごくいいことだなと思います。

ただ、私の住まいが二宮なのですが、他の地域から見た平塚のイメージと住んでいる方のイメージは違うと思います。今日の話伺い、皆さんが持っているイメージも分かるし、違うイメージも持っているのも、そういうギャップが埋まってくると、もっと平塚が盛り上がるのではないかと思います。

現に平塚で働いているので、平塚に是非頑張ってもらいたいと思います。

期待しています。本日は、ありがとうございました。

#### 【司会】

それでは、本日の感想を含めて、市長からお願いいたします。

#### 【市長】

本日は、貴重な時間を割いてご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

様々なご意見を受け止めさせていただきました。今後、今日の結果をまとめさせていただいて、関連部署にも伝え、参考にさせていただきます。

令和7年も転入が超過することになりました。11年連続で転入が転出を超過するまちとなりました。

この先、人口が増えて、まちが規模的にも発展していくという時代ではありません。神奈川県も人口が減りつつある状況です。

今後、平塚で働く皆様、生活する皆様、子育てをしていただく皆様、高齢になって余生を過ごしていただく皆様、様々な世代の方々が生活する上で中身の濃いまちを作っていくのが私の仕事だと思います。

皆様のご意見を十分に確認させていただきながら、まちづくりを進めていきたいと思っています。

本日は、貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。

今後も事業所の皆様に応援したいと思っています。平塚で元気に働き、操業していただいて頑張ってくださいたいと思います。

本日は、どうもありがとうございました。